

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年4月2日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101607
法人名	社会福祉法人 喜入会
事業所名	グループホーム瀬々串
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入瀬々串町1番地 (電話) 099-343-8885
自己評価作成日	平成30年3月17日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年3月29日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・食事準備の際、盛り付け等の手伝いをいただいている。  
 ・午前・午後の体操で機能の維持を図っている。  
 ・地域の方を講師として招き、絵画教室、習字教室を行っている。  
 ・デイサービスが併設されており、共用スペースにて体操や会話で地域交流ができるようになっている。入所されても馴染みだった方との関係を継続できる。また、新たな人々と馴染みの関係を作ることで生活に楽しみが増える。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○当ホームは、谷山市街地から15分程度の国道226号沿いに位置し指宿枕崎線瀬々串駅近く、郵便局、小学校、公民館などが近隣にあり、ホームから錦江湾や桜島などが一望できる眺めのよいロケーションである。

○地域とは、開設当初から積極的に関わり関係性を深めたいという取り組みを実践しているホームである。そのため、民生委員や職員の情報をもとに集落会と繋がり協力関係を築きたいと考えており、職員が地域の清掃活動に参加したり、地域の方々が草取りや掃除に来て下さるなど相互の交流が始まっている。また、併設のデイサービスでの地域交流にも取り組んでいる。職員は今後も、相撲大会や小学校の運動会の見学、地域の文化祭などを始めとする地域行事に利用者や家族と地域に出かけて交流したり、社会貢献ができるよう活動の幅を拡大していく予定である。

○職員は、法人の関連施設から移動した経験豊かな職員で構成されている。リーダー職員は、小規模多機能ホームでの経験を活かしリーダーシップがあり、新人職員教育などは、経験者とペアを組みマンツーマンで指導するなどしている。人事考課システムがあり、適時個人面談を実施し意見や提案を聞く機会を設けている。また、資格取得やキャリアアップにも力を入れるなど、職員が向上心や目標を持って職務に従事できるよう職場環境・条件の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念に基づいて理解を促し、毎朝の朝礼や勉強会などで職員間で唱和している。新規の職員には必ずオリエンテーションを行い、理念について説明している。	理念は、認知症介護や生活習慣の継続、自立支援、地域貢献を目指すといったもので事務所に掲示され朝礼や勉強会などで唱和されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議には地域の代表の方に参加して頂き、地域とのつながりを持つなどしている。	地域とは、清掃活動や地区文化祭への参加、保育園の夏祭りへの参加や小学生の慰問の受け入れ、絵画・習字教室を地域の講師に依頼したり、ホームの清掃活動に民生委員さんがボランティアで来られたり、敬老会ではリハビリ専門職の職員が体操教室を開くなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	相談に来られた地域の方へ、認知症への理解と対応についてや介護サービス利用に関する説明を行い情報提供を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居状況をはじめ、サービス利用状況や取り組みなどについて報告したり、地域交流などの状況等情報交流している。	運営推進会議は、利用者の暮らしぶりや事業所の取り組み状況を報告し、地域と繋がっていくための方策や事業所の課題などを質疑応答するなどメンバーで意見交換や話し合いを行い、出された意見などは、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	不明な点は問い合わせたり、包括支援センターなどの方と日常的に連絡と取り合っている。	支所に出向き面談したり、電話で相談やアドバイスをいただくなく協力関係ができています。地域包括とは、ケア会議への参加を通じて連携を図ったり、入所相談を受けたりしている。市からは、研修会の案内もある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会をつくり、職員の勉強会等で学ぶ機会をつくり、身体拘束をしないケアを心掛けている。	玄関側は道路が近く、建物の後方は海岸のため玄関は施錠されている。また、エレベーターや廊下などセキュリティ対策があり、安全面に配慮している。年2回、内部研修を実施したり、職員教育に熱心に取り組んでおり、各部署ごとの新人教育に努め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議の場で「高齢者虐待防止法について」の勉強会を行い学び、事例等を通し職員間で「虐待」について指摘しやすい環境作りに取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後継人制度を利用されている方がおり、後見人との打ち合わせや日頃の連絡調整を通して学ぶ機会をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>解りやすく丁寧にする説明を心掛けている。契約締結の際には、適宜質問はないかを確認しながら進めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から必要な連絡を行う等、意見を伺う機会を作る。苦情相談窓口および対応マニュアルがある。運営推進会議ではご家族からの意見も頂くなどしている。</p>	<p>利用者の意見や要望などは、会話や行事の中で聞き取ったり、家族は面談や運営推進会議で意見などを聞き取っている。出された意見は、月2回開催されるミーティングで職員全員で話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議での検討事例に時間を取り、職員の意見を反映するようにしている。</p>	<p>職員は、法人の関連施設からの異動により構成されており、リーダー職員は、小規模多機能ホームや在宅介護サービス等での経験者である。人事考課システムがあり、個人面談や職員会議などで意見、提案を聞く機会を設け、サービス向上に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>処遇改善手当やキャリアアップ制度を取り入れ、資格取得に向けて職員が向上心を持って働けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>社内研修でケアの向上を図り、外部講師による手技の勉強会を持てるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>包括支援センターが主催する事例検討会などの参加機会にて交流がもてるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用開始前、利用する際に御本人の要望や御意見等を伺い、安心して入居後生活して頂けるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族の要望にに耳を傾け、不安がある事について説明を行いながら関係作りをおこなっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>初回面接にて詳しく話しを聞き状況や状態を把握できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ご本人様が出来ることや取り組みたいことを理解し、日常生活において役割りをもって過ごしていただける関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へこまめに状態などを報告し、理解した上で協力をして頂いている。日頃から会話と通してご本人様の思いをくみ取るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人のご面会時には、出来るだけ、特別な理由がない限りは解放的にしている。また職員は関係についても把握するように努めている。	知人や友人の面会や訪問理美容の訪問があったり、家族の協力をいただきながら、行きつけの理美容院や墓参りに行ったり、外泊される方もおられる。また、1階のデイサービスに通われている兄弟の方との面会もある。職員は、手紙の代読をしたり、携帯電話を活用し、馴染みの人との繋がりが途切れることがないよう配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おやつ時間や水分補給時に職員も中に入り、個々に話ができる雰囲気づくりを努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後にこちらから連絡をとることはないが、偶然の出会い等で近況を伺うことがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴把握し、暮らし方の希望の把握し、話し合いながら希望に沿えるように努めている。	伝達能力の高い利用者が多いが、意思表示が少ない利用者もあるため、職員は、居室を利用しリラックスして会話ができるよう雰囲気作りに努めたり、表情やしぐさ、家族からの情報を参考にして一人ひとりの思いを共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントでご本人様・ご家族様より情報を集め、在宅サービス利用状況の状況を担当ケアマネより提供して頂きよりこれまでの生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々のアセスメントで生活パターンを把握しその方に適した暮らしができるように、現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	正しいモニタリングで評価し、ケアカンファレンス実施で意見交換し、次回の介護計画に生かしている。	基本情報、フェイスシートなどを活用し、アセスメント情報を整理・分析して課題を明確にした上で利用者の生きがいや役割に焦点を当て本人らしい暮らしの実現を目指すなど、現状に合った介護計画を作成している。モニタリングは、毎月実施、ケアカンファレンスで話し合い計画の見直しも含め柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護の際に、ご本人様の言葉・行動を記録に残し、職員全員が把握できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	環境の変化、ご家族様の思いに十分に配慮し、取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事や美容室へ行って安全で豊かな暮らしができる関係づくりをしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの病院や希望する病院への受診で適切な医療を受け、協力医療機関との連携も含め、日常の健康管理に努めている。	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。定期受診や他科受診は、家族に協力をいただいているが、状態変化時は情報提供書を作成している。夜間帯は、救急車を要請し協力医療機関に依頼する体制を取っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>1週間に一回程の外来受診や外来リハビリなどの際に職場内の看護師に報告または電話等で、今後の指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者が入院した場合は、入院先へ最新の情報提供書などをお渡ししている。備えとして、通常のかかりつけ医にも定期受診の際に、入院治療時の情報を伝えるなどしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や、終末期のあり方について、家族等と面談し、敏速に方針を決め、方針の共有と支援をおこなっている。</p>	<p>事業所は、重度化した場合や終末期ケアについては、利用者や家族、主治医、関係機関等と早い段階から話し合い、今後のケアの方向性や支援については、口頭で行っている。事業所は、看護体制がないため、看取りはしない方針であるが、文書化されていないため早急に検討されたい。</p>	<p>重度化や看取りの指針を定め、本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携を取り、安心して納得した最期を迎えられるよう文書化されることが望ましい。また、重度化に伴う意志確認書を作成し、利用者が重度化した場合や終末期介護に対する意向を段階に応じて確認書を取り交わすことも検討されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対応マニュアルを作成しており、定期的に確認をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回の消防訓練（昼間・夜間想定）を行い避難経路や誘導の仕方、消火器訓練を実施し、運営推進会議にて火災時の協力等においてもお願いをしている。</p>	<p>地域の協力体制があり、運営推進会議で地域や関係者への協力を依頼している。水、米などの備蓄を整備、井戸も活用できる。また、セキュリティ対策にて防犯をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を傷つけない言葉かけを職員間で注意を促している。特に声掛けの名前を呼ぶ際など気を付けている。	職員は、プライバシー保護（個人情報含む）の研修会を年2回実施している。言葉使いには気をつけており、年長者として敬い、馴れ合いにならないよう努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行動前に声掛けし、同意を得られるように心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	話し合う事を心がけ、希望を聴き取りその人らしい生活の中で暮らせるように支援する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	モーニングケアの際に、髭剃りやお化粧品・イヤリング・洋服などに気をつかうようにしている。汚れやほころびなどがあつた場合はすぐに対応できるようにしている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホワイトボードに「本日の献立」をご入居者様にわかるように掲示している。食事の盛り付けやお茶碗洗いを一緒にしている。	メニューは、両ユニット同じで、献立は、栄養士が作成した献立表を参考に作成、利用者に嗜好を聞き取り、「麺類が食べたい」という意見が多く、メニューに多い。行事食はあるが、外食はしていないので今後検討している。盛り付けや食器洗いなど能力に応じてお手伝いがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事が食べにくい方は一口大やお粥など、形態を調整する。高カロリーゼリーなどで不足している栄養素を補っている。お茶やコーヒー・紅茶など選択していただき提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	御自身で口腔ケアがしにくい方に支援をしている。介助ブラシやスポンジを使用している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間は排泄時間を決めてパット交換と誘導で確認している。日中も声掛けを行い定期的にトイレ誘導し確認している。	各居室にトイレや洗面台が設置されているが、共用のトイレもあり、必要に応じて利用される方がおられる。職員は、排泄のリズムを把握し、定時にトイレ誘導したり、声かけを行い排泄の自立支援をおこなっている。テープ式おむつからリハビリパンツへと変更された方がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日食事と水分量の確認をし、水分量の少ない方には紅茶など目先のかわったものを提供している。敷地内の散歩を進めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴予定日はあるが、外出の前日やヘアカットなどの理由で入浴ができるよう支援している。	基本は、週2回入浴を支援しているが、本人の希望や必要に応じて入浴を勧めるなど臨機応変に対応している。同性介助に配慮している方がおられたり、外泊時に家族と温泉に行かれる方がおられる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日の心身の変化を確認し、身体を休めて頂いてる。個人の好みに合わせて枕の高さや寝具の調整をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どのような薬を服薬されているかある程度の理解はある。状態の変化があった際、記録を取り、薬の見直しを医師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人の能力に合わせて、植物への水やり・洗濯たたみ・食事準備・テーブル拭き等の役割がある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族と外食や買い物に行かれる方もおられる。	年間行事計画を作成し、地域の七夕祭りや十五夜、小学校の運動会、コスモス見物に出かけている。また、日常は、天候や体調を見ながら、海岸に散歩に行くなどして気分転換を図ったり、家族と病院受診のついでに外食したり、外泊される方がおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人様で管理できる方はご本人で管理され、外出された際に買い物をされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>事前にご家族様に相談し、本人から要望ある時には取り次いでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は掃除をおこない、清潔に保つようにしている。</p>	<p>1階には、リハビリ特化型デイサービスがあり、エレベーターを使用し2階が居住空間になっており、ユニットは、それじれ仕切られている。対面キッチンで、食堂から見える錦江湾や桜島の眺望が利用者や家族などの満足感を満たしてくれる。壁には、絵画教室の作品や講師のスケッチなどが掲示され、掃除も行き届き清潔感がある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな椅子の場所で腰かけて会話を楽しんだり、テレビ鑑賞や音楽鑑賞ができる工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れて家具や装飾品を持ち込んだり、空気清浄加湿器など使用している。</p>	<p>テレビや家族写真、肖像画、地球儀、タンスなど馴染みの品を持ち込み、趣味の生花を活けている方もおられる。トイレは居室に設置されており排泄の自立支援が図られている。ベットは備え付けであるが他は使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>文字がわかる方にトイレの位置がわかるよう扉に「トイレ」と表記し、認知して頂いている。認知ができることでトイレに行き、排泄することができる。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない